

平成29年度予算 主要事業の概要



HIDA CITY
飛驒市

【 総括事項 】

「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」の本格展開にむけて

現在の飛騨市には、ノーベル物理学賞受賞者輩出、古川祭のユネスコ無形文化遺産への登録決定、アニメ映画「君の名は。」の大ヒットなど、これまでにないチャンスが訪れています。これらのチャンスを一過性ではなく、持続的な観光誘客につなげるための新しい取り組みを積極的に展開するとともに、地域にある未活用資源を発掘し「自慢」として磨き上げ、活用することで飛騨市のさらなる魅力向上を図ります。また、福祉分野においては小さなまちだからこそできるきめ細やかかつ大胆な施策や仕組みづくりを進め、乳幼児期から生涯にわたり安心が実感できるまちづくりのための取り組みを大幅に強化拡充します。これらの取り組みは、議会からの要望をはじめ、市民との意見交換会や「どうやなボックス」の設置などにより市民の声を聴き、常に市民本位の施策となることを念頭に置いたものです。一方で前例踏襲に捉われず、中長期的な財政運営も踏まえた上で事業の効率化や見直し、ゼロ予算事業を推進するとともに、既存事業においても「進化」を前提とした改善を常に実施します。

こうしたことを踏まえ、平成29年度の事業は、人口減少・少子高齢化の進行する中であっても未来に希望を持ち「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」の本格展開を図る初年度に相応しいものであると言えます。

【 政策の柱 ・ 目次 】

元気な飛騨市をつくる

- ◎ **チャンスを活かす仕組みづくり** . . . 2
 - チャンスを活かした観光誘客の拡大
 - 競争力の高い観光地づくり
 - 支えが必要な方にも優しい観光地づくり
- ◎ **自慢できる価値あるものをつくる（農林業・商工業）** . . . 3
 - 農林業における担い手の育成・確保
 - 市内特産品の販路拡大と人材育成

あんな飛騨市をつくる

- ◎ **支えを必要とする人があんに暮らせるまちをつくる** . . . 5
 - 障がいのある方が安心できる体制づくり
 - 介護人材の育成・確保と体制の整備
 - 高齢者を支える仕組みづくり
 - 健康づくり・医療体制の強化
 - 誰もが安心して子育てができる環境づくり
- ◎ **安心を実感できる飛騨市をつくる** . . . 8
 - 安全な暮らしをつくる
 - 快適な暮らしをつくる

誇りのもてる飛騨市をつくる

- ◎ **飛騨市の未来をつくる** . . . 9
 - 未来を支える人の育成
 - 地域の自慢の発掘と磨き上げ
- ◎ **元気であんなを支える人と地域をつくる** . . . 10
 - 協働によるまちづくりと交流の促進

平成29年度予算 主要事業の概要

元気 元気な飛騨市をつくる

チャンスを活かす仕組みづくり

チャンスを活かした観光誘客の拡大

ノーベル物理学賞を2名輩出した神岡町における宇宙物理学研究や古川祭のユネスコ無形文化遺産への登録、アニメ映画「君の名は。」の大ヒットは飛騨市にとってこれまでにない大きなチャンスであるため、これらを一過性ではなく持続的な観光誘客及び観光消費額のアップにつなげる取り組みを行います。

世界最先端物理学研究による知名度向上のチャンスを活かす

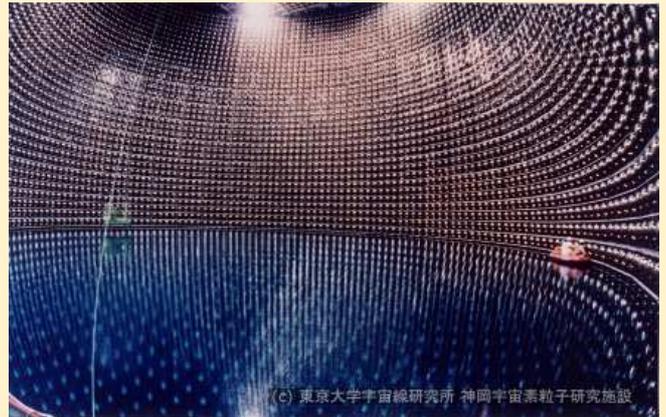
新規 **宇宙物理学研究を伝える新たな場の整備** 予算額 200,753 千円
宇宙物理学研究を全国に紹介し飛騨市への観光誘客を推進するため、
研究を分かりやすく伝える施設を神岡町宙(そい)ドーム内に整備します。 企画課 (概要書1P)

3補 **「夢館(ゆめやかた)」の整備(リノベーション)** 予算額 30,000 千円
東京大学宇宙線研究所との連携協定に基づき、東大に譲渡する北部会
館の代替機能を夢館に移行するための整備を行います。 企画課 (概要書3P)

新規 **宇宙物理学研究に関するグッズの開発** 予算額 2,000 千円
東京大学宇宙線研究所との連携により、神岡町を訪れた証となる飛騨市
でしか手に入らないグッズ等を土産物として開発・生産し、販売を行います。 企画課 (概要書2P)

飛騨神岡宇宙最先端科学パーク構想推進プロジェクト

飛騨市神岡町が鉱山城下町として持つ様々な資源の限らない可能性と現在の構造的課題に鑑み、スーパーカミオカンデに代表される最先端宇宙物理学研究を来訪者が身近に感じることができる環境の整備と、かつては町の生活を支えた神岡鉄道の廃線を利用した人気のアトラクション「レールマウンテンバイク」のさらなる魅力向上、実験施設を訪れる生徒等に世界最先端の物理学研究を講義できる拠点として「夢館」のリノベーション等を実施するとともに、それらを線でつなぐ仕組みをつくることで地域が持つ魅力の最大化を図り神岡町全体として誘客推進を図ります。なお、プロジェクトの一部は平成28年度地方創生推進交付金の採択を受け実施中です。



(c) 東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設

(プロジェクトを構成する主な事業)

- ・ 宇宙物理学研究を伝える新たな場の整備
- ・ 「夢館(ゆめやかた)」の整備(リノベーション)
- ・ ロスト・ライン・パーク構想の推進
- ・ RMTB溪谷コース開設及び周辺整備

古川祭のユネスコ無形文化遺産登録のチャンスを活かす

新規 **ユネスコ登録自治体との連携及び交流促進** 予算額 1,696 千円
高山市・高岡市・南砺市と連携して祭りを切り口とした飛越周遊観光を促
進するとともに、飛越市民交流を目的とした日帰りバスツアーを実施します。 観光課 (概要書4P)

新規 **飛越ツアーバスの運行支援** 予算額 1,800 千円
富山からの二次交通充実のため、北陸新幹線富山駅、富山きとぎと空港
を基点としたツアーバスを富山県と飛騨市との連携事業として実施します。 観光課 (概要書4P)

新規 **市道老之町線の無電柱化** 予算額 10,368 千円
古川祭の屋台曳行・引き揃えが行われる老之町線の無電柱化を進め、歴
史ある古川祭とマッチした街並み景観の整備を進めます。 都市整備課 (概要書5P)

拡充 **飛騨古川まつり会館映像・設備のリニューアル** 予算額 35,745 千円
古川祭のユネスコ無形文化遺産登録という機会を活かし、まつり会館の魅力向
上及びPR強化のため、4K映像の導入と機器の更新を行います。 観光課 (概要書6P)

拡充 **古川祭研究事業** 予算額 2,299 千円
古川祭のユネスコ無形文化遺産登録を機に、市内外の学術資料の収集と
古川祭に関する調査研究を進め、「古川祭史」の刊行を目指します。 生涯学習課 (概要書7P)



継続 **古川祭屋台曳行の支障となる電線の移設** 予算額 4,872 千円
古川祭における安全かつ円滑な屋台曳行を行うため、その支障となっている
電線の移設を行います。 観光課 (概要書8P)

競争力の高い観光地づくり

飛騨市の特色ある観光資源として全国に知られるレールマウンテンバイクのさらなる魅力向上のための整備等を行い、宇宙物理学研究などと合わせることで飛騨市神岡町全体として観光誘客拡大を図ります。また、映画「君の名は。」の大ヒットにより飛躍的に高まった飛騨市の知名度を継続的な誘客につなげるため、チャンスを活かした観光キャンペーン等を行うことで競争力の高い観光地づくりを目指します。

新規 アニメの舞台となった自治体との有機的連携 予算額 500 千円
県内のアニメ舞台となった自治体と連携し、課題を共有するとともにアニメを活用した地域振興の研究等を行います。 企画課 (概要書9P)

拡充 ロスト・ライン・パーク構想の推進 予算額 49,500 千円
レールマウンテンバイク利用者が安全にアトラクションを楽しめるよう、コース内橋梁部分の安全対策を行います。 企画課 (概要書10P)

3補 RMTB溪谷コース開設及び周辺整備 予算額 56,500 千円
飛騨市の魅力向上の拠点整備として、レールマウンテンバイクの新コース(溪谷コース) 開設及び周辺環境整備を実施します。 企画課 (概要書11P)

拡充 認知度向上を活かした情報発信の充実 予算額 21,740 千円
飛騨市の認知度向上の機会を最大限活かし、最適なプロモーション手法を選択しながら北陸圏及び海外からの観光誘客を拡充します。 観光課 (概要書12P)

拡充 飛騨市観光協会の体制強化 予算額 41,716 千円
飛騨市観光の中心的推進組織である観光協会の体制強化を図るため、事務局長の専任化等の支援を行います。 観光課 (概要書13P)



継続 東町交流広場の整備 予算額 20,500 千円
神岡街歩きガイドの発着点でもある神岡町東町交流広場(神岡振興事務所前)を魅力的なオープンスペースとして整備します。 都市整備課 (概要書14P)

支えが必要な方にも優しい観光地づくり

全国的に高齢化の進行が見込まれる中、飛騨市の魅力や自慢をどれだけでも多くの人に体験していただくため、支えが必要な旅行者が心配なく訪れることができるユニバーサルツーリズムに対応した観光地づくりを目指します。



新規 飛騨古川まつり会館のバリアフリー化 予算額 3,250 千円
支えが必要な方にも優しい観光地づくりの実現に向けて、まつり会館トイレ等のバリアフリー化改修に必要な実施設計を行います。 観光課 (概要書15P)

新規 「ふるかわや」多目的トイレのユニバーサル化 予算額 3,961 千円
障がい児者等の支えが必要な方にも優しい観光地づくりの実現に向けて、市役所前「ふるかわや」多目的トイレのユニバーサル化を行います。 観光課 (概要書16P)

継続 安峰山展望台歩道のバリアフリー化 予算額 5,900 千円
安峰山展望台からの眺望を車椅子利用者等にも見ていただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮した歩道を設置します。 農林課 (概要書17P)

継続 池ヶ原湿原バリアフリー遊歩道の整備 予算額 15,000 千円
「岐阜の宝もの」認定の三湿原の一つである池ヶ原湿原のさらなる魅力向上のため、バリアフリーに対応した遊歩道の整備を行います。 観光課 (概要書18P)

自慢できる価値あるものをつくる(農林業・商工業)

農林業における担い手の育成・確保

全国の自治体同様、飛騨市においても農林業における担い手不足が課題となっているため、作物を問わず横の連携を強化することによる人材育成や、飛騨市での就農に関する情報を積極的に発信することによる新規就農者の確保を行います。また、担い手の経営安定に必要な効率的な農地利用推進を図るため、市内農地における基礎調査を実施します。

農業振興

新規 就農者支援ホームページの制作 予算額 1,383 千円
新規就農者確保対策として、農業に関心のある市外在住者が就農に必要な情報を取得できるよう市HP内に特設ページを設置します。 農業支援C (概要書19P)

新規 農と福祉との連携支援 予算額 2,145 千円
生活困窮者の自信の回復や社会的自立と農業における担い手確保のため、農業体験や作業訓練を通じた能力向上・担い手育成を支援します。 福祉課 (概要書20P)

新規 菌床シイタケの産地強化への支援 予算額 1,000 千円
飛騨市産シイタケの生産量増加につなげるための緊急対策として、機械、施設の導入に係る経費の一部を支援します。 農業支援C (概要書22P)

拡充 若手農業者の交流機会の創出 予算額 344 千円
若手農業者の情報交換や研修の機会を増やし、地域や作目の垣根を越えた交流促進と横のつながり強化を図る取り組みを行います。 農業支援C (概要書23P)

新規 農地利活用情報の整理	予算額	843 千円
飛騨市の地理的条件を活かした農業推進の基礎資料とするため、農地の5年後、10年後の耕作意向を一筆ごとに把握します。		農林課 (概要書21P)

拡充 トマト農家等施設園芸就農者の農地借上支援	予算額	1,600 千円
施設園芸新規就農者の農地借上げに対する支援について、対象となる区域をこれまでよりも広げて実施します。		農業支援C (概要書24P)

林業振興

新規 小規模森林整備の推進	予算額	820 千円
市内里山林整備の推進と良好な農村環境を維持するため、県自伐林家型地域森林整備事業への上乗せ補助を行う新たな制度を創設します。		農林課 (概要書25P)

新規 自発的な森林保全活動への支援	予算額	742 千円
地域住民等による自発的な森林保全活動とその継続を支援するため、国交付金への継ぎ足し補助を行う新たな制度を創設します。		農林課 (概要書26P)

新規 森林計測業務の省力化支援	予算額	1,000 千円
森林計測業務の省力化のため林業事業者が導入する森林3次元計測システム導入に係る経費の一部を支援します。		農林課 (概要書27P)

新規 飛騨ジビエのPRと普及	予算額	500 千円
ジビエへの理解促進と有効利用の定着を目的としたイベントや講習会を行い、農業被害軽減と資源活用の好循環を図ります。		農林課 (概要書28P)

拡充 新規狩猟免許取得に対する支援の充実	予算額	2,500 千円
新たに有害鳥獣捕獲業務に従事する意欲のある方に対し、免許費用、猟銃取得に係る費用の全額を支援します。		農林課 (概要書28P)



畜産振興

新規 繁殖牛増頭による飛騨牛生産基盤の強化	予算額	2,000 千円
増頭を目的に牛舎を整備した農家を対象に、増頭分に係る繁殖雌牛の導入経費の一部を助成する新たな制度を創設します。		農業支援C (概要書29P)

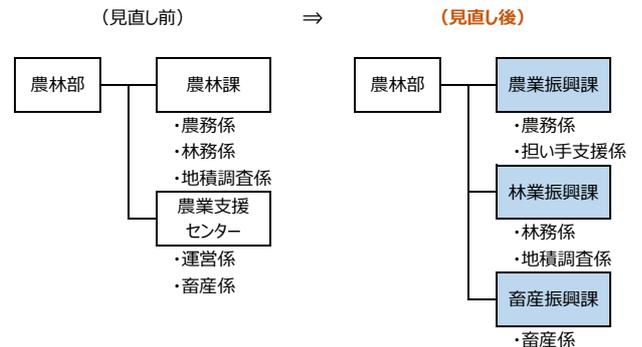
新規 全国和牛能力共進会への出場支援	予算額	1,019 千円
「飛騨市の飛騨牛」を全国にPRするため、平成29年に仙台市で開催される全国和牛能力共進会への出場を支援します。		農業支援C (概要書30P)

(組織の見直し)

組織 農林部に「農業振興課」を新設	農林部
これまでの農林課及び農業支援センター内にあった農業振興所管係を統合し、新たに農業振興課を設置します。	(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 農林部に「林業振興課」を新設	農林部
これまでの農林課内にあった林業振興所管係を林業振興課として新たに設置します。	(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 農林部に「畜産振興課」を新設	農林部
これまでの農林課及び農業支援センター内にあった畜産振興所管係を統合し、新たに畜産振興課として設置します	(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)



市内企業の人材確保・育成と特産品の販路拡大

商工業分野における人材・担い手不足の解消のための人材確保・育成を行うとともに、観光物産展等の自主開催や、県やショッピングセンターが行う催事への積極的な参加により飛騨市の特色ある認定特産品等のPR及び販路拡大を推進します。

新規 ネットショップ運営人材の育成	予算額	5,000 千円
市内で生産される食品、工芸品、お土産等特産品が購入できるネットショップの開設と運営に必要なノウハウを有した人材の育成を図ります。		商工課 (概要書31P)

新規 景気動向調査の実施	予算額	100 千円
正確な景況感を把握し効果的な商工施策の立案につなげるため、景気動向調査を実施します。		商工課 (概要書35P)

新規 市内企業の技術・技能人材確保に対する支援	予算額	1,200 千円
有資格者など企業に必要な専門人材の確保を支援するため、就職フェア等での企業PRや募集に関する支援を行います。		商工課 (概要書32P)

拡充 関西・岐阜地区等での観光物産展の開催	予算額	2,700 千円
川島PA、彩都やまもり等での物産展開催及び県観光連盟、イオン等の物産展への参加により飛騨市認定特産品のPR及び販売促進を図ります。		商工課 (概要書36P)

新規 中高齢者就業セミナーの開催	予算額	300 千円
企業の労働力不足解消のため、企業が欲しい人材に沿ったマッチングを図る中高齢者向けの就業セミナーを開催します。		商工課 (概要書33P)

拡充 ふるさと納税返礼品の充実	予算額	315,963 千円
市内での体験を含む様々な商品のPRを行い、特産品等返礼品のバリエーション充実を図ることで飛騨市ファンの獲得につなげます。		企画課 (概要書37P)

新規 希少伝統産業後継者の独立創業支援	予算額	3,000 千円
市の希少伝統産業の技術後継者を育成し、後世への伝統技術継承を図るため、研修者の独立創業に要する経費の一部を助成します。		商工課 (概要書34P)

拡充 商工業活性化のための包括的支援の実施	予算額	26,800 千円
既存補助メニューを改善し、店舗リニューアル支援の復活など市内事業者の様々なニーズに柔軟に対応できる包括的な補助制度を創設します。		商工課 (概要書38P)

支えを必要とする人があんきに暮らせるまちをつくる

障がいのある方が安心できる体制づくり

発達障がいをはじめ、支援を要する子どもたちが増える中で、子どもたちやその家族が安心できる体制づくりが急務です。そのため、神岡町の日中一時支援施設「なかよしキッズ」及び児童発達支援事業所「神岡ことばの教室」を同一箇所に移転・新設するとともに、民間の障がい児・者日中一時支援事業所についても新たな事業拠点を整備します。また、自治体として全国初となる児童精神科単科の診療所「こどものこころクリニック」を開設し、臨床心理士の確保を進めるほか、近隣の医療機関とも連携し、作業療法士などによるリハビリも受けられるよう準備を進めます。

発達支援センターについても常勤専門職の所長とスタッフを配置し、医療と福祉の連携体制強化を図ります。

新規 こどものこころクリニックの開設 予算額 16,748 千円
飛騨地域の発達支援体制の向上を目的に、その拠点となる児童精神科診療所「こどものこころクリニック」を全国の自治体として初めて開設します。健康生きがい課 (概要書39P)

新規 なかよしキッズ・神岡ことばの教室の整備 予算額 9,280 千円
老朽化が進んでいる日中一時支援事業所「なかよしキッズ」及び児童発達支援事業所「神岡ことばの教室」を同一場所に移転・整備を行います。福祉課 (概要書40P)

新規 障がい児・者日中一時支援事業所の整備 予算額 88,857 千円
市内各地からの通所に便利な神岡町山田地区に新たな事業拠点を整備するために必要な設計業務を行います。福祉・生学課 (概要書41P)

新規 障がい者グループホーム等の整備 予算額 9,700 千円
和光園の建て替えを機に旧施設をリノベーションし、障がい者グループホーム、有料老人ホーム等からなる複合施設整備に向けた設計を行います。福祉課 (概要書42P)

拡充 発達支援センターの体制強化 予算額 4,745 千円
発達支援センターに常勤専門職のセンター長及び教職員OBスタッフを配置し、専門性の向上と学校・保護者との連携強化を図ります。福祉課 (概要書43P)



拡充 市内保育園における個別支援計画の充実 予算額 220 千円
従来より取り組んできた地域療育システムを発展させた新たな市独自の個別支援システム（飛騨市サポートプログラム）の実践に取り組みます。福祉課 (概要書44P)

継続 発達障がいに関する各種講演・研修会の開催 予算額 360 千円
発達障がいに関する理解を深めるため、保護者対象講演会、保育士や教員等支援者対象研修会、団体等の自主的会合への講師派遣を行います。福祉課 (概要書45P)

介護人材の育成・確保と体制の整備

全国的に介護人材不足が叫ばれる中、飛騨市においても深刻な介護人材不足により、施設への入所を制限する事態が発生しています。市民の「あんき」を提供する介護基盤を確保するためには、何よりもまず介護人材の確保が喫緊の課題です。このため、飛騨市では、行政で取り組みが可能なあらゆる分野において、様々な着眼点から重層的かつ大胆に介護人材の確保・育成に取り組む「介護人材確保対策プロジェクト」を実施します。

介護人材の育成

新規 専門学校との連携による介護人材の養成 予算額 190 千円
福祉専門学校の講師派遣により、市内高校で福祉授業を行うとともに、地元就職を前提に同校へ進学する学生に修学資金を支援します。健康生きがい課 (概要書46P)

継続 介護職員初任者研修の開催 予算額 1,985 千円
介護職の入門資格である「介護職員初任者研修」の市内での受講機会を設け、介護人材の確保、新任介護職のスキルアップを支援します。健康生きがい課 (概要書47P)

継続 介護福祉士実務者研修受講の支援 予算額 250 千円
国家資格「介護福祉士」を目指し、自社の介護職の受講負担軽減を推進する介護事業所を支援することで、介護職のスキルアップを支援します。健康生きがい課 (概要書48P)



介護人材の確保

新規 空き家を活用した介護職員社宅の確保 予算額 1,000 千円
市内福祉事業所が介護職員の社宅として市内空き家を借り上げる場合の経費の一部を支援します。健康生きがい課 (概要書49P)

新規 介護人材掘り起こし支援 予算額 1,000 千円
介護職の紹介者に謝礼等を支払う事業所を支援することで、市民からの介護人材の掘り起こしを推進します。健康生きがい課 (概要書49P)

新規 市内介護事業所の魅力発信 予算額 1,000 千円
飛騨市と各事業所が持つ魅力、介護職のやりがいなどをまとめたWebサイトまたはリーフレットの制作を支援します。健康生きがい課 (概要書49P)

継続 シニア世代の介護就労の奨励 予算額 700 千円
市内福祉事業所に就職するシニア人材に交付する奨励金の支給要件を緩和し、介護現場での活躍を推進します。健康生きがい課 (概要書50P)

新規 介護職の身体的負担軽減器具の導入支援 予算額 1,000 千円
介護ロボットに認定されていないものの、職員の身体的負担軽減に大きな効果のある介護器具等の導入に要する経費の一部を支援します。健康生きがい課 (概要書51P)

継続 介護ロボットの導入支援 予算額 1,000 千円
介護職の負担を軽減し、少数の職員でもきめ細やかな対応ができる介護体制構築に向け、比較的少額の介護ロボット導入を定期的に支援します。健康生きがい課 (概要書51P)

	(の内数)	
新規 福祉人材への特別就職奨励金の支給	予算額 700 千円	
学卒またはUIターン者が市内福祉施設等に就職する場合、既存の就職奨励金に上乗せして特別奨励金を交付します。	健康生きがい課 (概要書50 P)	

継続 特養夜勤者の待遇改善	予算額 5,366 千円	
介護職夜勤者の不足により、特別養護老人ホームにおいて入所の制限が生じているため、緊急措置として夜勤手当の支援を継続します。	健康生きがい課 (概要書52 P)	

在宅介護の支援

拡充 家族介護者応援手当の拡充	予算額 24,000 千円	
在宅での家族介護者を担い手と位置付け、慰労金から給付的な手当に改めるとともに、複数名の介護実施者への加算を新たに実施します。	健康生きがい課 (概要書53 P)	

継続 在宅介護の負担軽減支援	予算額 3,000 千円	
在宅介護で最も大変な排泄介助において、福祉用具購入費の市上乗せ支給による水洗ポータルトイレの普及を図り、介護者、ヘルパーの負担軽減を図ります。	健康生きがい課 (概要書52 P)	

継続 高齢者の生活支援体制の整備推進	予算額 7,648 千円	
介護ボランティアポイント、支えあいヘルパーの養成など、地域支え合いの生活支援体制を推進し、専門職では手の届かない部分をサポートします。	健康生きがい課 (概要書54 P)	

高齢者を支える仕組みづくり

高齢者が安心して暮らせるまちづくりの重要性に鑑み、老朽化が進んでいる養護老人ホーム和光園の建て替え整備と、地域見守り支援員の配置によるきめ細やかなサポート体制の構築など、条件不利地域における福祉サービスの確保を図ります。

新規 地域見守り支援員の配置	予算額 4,500 千円	
地域の要援護者を戸別訪問により把握し、必要な支援を早期に講ずるため、地域見守り支援員2名を新たに配置します。	健康生きがい課 (概要書56 P)	

新規 民間事業所との連携による介護予防教室の実施	予算額 112 千円	
民間事業所が保有する機械器具等のインフラを活用し、事業所と連携した介護予防教室を試験実施します。	健康生きがい課 (概要書57 P)	

新規 高齢者支援体制の整備に必要な情報の把握	予算額 772 千円	
1人暮らし高齢者等への支援体制構築に必要な情報を把握するため、65歳以上の高齢独居世帯等を対象にチェックリストによる調査を行います。	健康生きがい課 (概要書58 P)	

新規 条件不利地域の福祉サービス確保支援	予算額 3,000 千円	
人口が集中している市街地から遠い条件不利地域における高齢者福祉サービスの向上のため、お泊りサービス実施経費の一部を支援します。	健康生きがい課 (概要書59 P)	

新規 公民館トイレの洋式化	予算額 3,700 千円	
高齢者や障がいのある方が安心して市内公民館を利用できるよう、順次計画的に和式トイレの洋式化改修を進めます。	生涯学習課 (概要書60 P)	

継続 養護老人ホーム「和光園」の建て替え整備	予算額 436,752 千円	
老朽化が進んでいる「養護老人ホーム和光園」の全面建て替えを行い、高齢者の福祉環境の向上を図ります。	健康生きがい課 (概要書61 P)	

継続 いきいき健康増進券のリニューアル	予算額 15,914 千円	
高齢者の健康増進を目的に交付する「いきいき券」について、より使いやすい利用方法に改めることで外出による健康づくりを促進します。	健康生きがい課 (概要書62 P)	



市内施設バリアフリー化等の推進

市内外の高齢者や障がい児者等、支えが必要な方々にも気軽に飛騨市を訪れる様々な魅力を体感してもらえるよう、市内施設のバリアフリー化及びトイレの洋式化を推進し、支えが必要な方にも優しいまちづくりを推進します。

【平成29年度整備箇所】

市有施設等のトイレの洋式化（飛騨市役所、いなか工芸館、古川駅前観光案内所、古川町公民館、山之村多目的集会施設、河合土間付体育館）、安峰山展望台歩道のバリアフリー化、池ヶ原温泉バリアフリー遊歩道の整備、「ふるかわや」多目的トイレのユニバーサル化、飛騨古川まつり会館トイレ等のバリアフリー化（実施設計）

健康づくり・医療体制の強化

自ら外に出て行うアクティブな行動を奨励し、生活習慣病予防などの健康づくりにつなげるため、市や個人があらかじめ設定したメニューを達成する毎にポイントを付与し、市民運動的に楽しみながら健康づくりを行う新たな制度を創設します。また、骨髄移植ドナーの入通院費や男性不妊治療に対してきめ細やかな支援を行います。



新規 まめとく健康ポイント制度の創設	予算額 1,500 千円	
市及び個人があらかじめ設定した健康づくりメニューの達成にポイントを付与し、健康づくりへの動機付けと継続を促す新たな制度を創設します。	健康生きがい課 (概要書63 P)	

新規 骨髄移植ドナーの入通院費助成	予算額 140 千円	
日本骨髄バンクを通じ骨髄等を提供するドナーの入通院に要する費用の一部を支援します。	健康生きがい課 (概要書64 P)	

新規 国民健康保険人間ドックへの助成	予算額 640 千円	
市の国民健康保険加入者が行う人間ドックに対する助成を行い、疾病の早期発見・治療を図るとともに医療費の抑制を図ります。	市民児童課 (概要書65 P)	

	(の内数)	
拡充 男性不妊治療への支援	予算額 5,500 千円	
不妊・不育症治療に必要な経費の一部助成のうち、男性不妊治療に係る助成を拡充します。	健康生きがい課 (概要書66 P)	

誰もが安心して子育てができる環境づくり

子育て世帯へのアンケート調査の結果に基づき、これまで実施していた入園入学祝い金事業を見直し、代わって制服・体操服等の購入費用への支援及び支援範囲を高校生にまで広げた教科書等購入費用への支援を行うとともに、低所得者世帯を対象とする給付型奨学金制度の創設、部活動における各種大会出場費用への支援拡充を図るなど、市民ニーズに合致したきめ細やかな支援を行います。

また、安心安全な子育て環境を整備するため、保育園及び放課後児童クラブへのエアコン設置を行うとともに、飛騨市らしい子育ての場を提供するため市内子育て支援センターに木育ひろばを増設します。

拡充 入園・入学準備品購入費用への支援 予算額 25,000 千円
 これまでの入園入学祝い金制度を見直し、市民ニーズに基づき新たに入園入学時の被服購入や高校入学時の教科書等の購入を支援します。 市民児童課 (概要書67P)

新規 低所得者世帯への給付型奨学金の創設 予算額 12,000 千円
 教育の機会均等の観点から、新たに低所得者世帯に対する給付型奨学金制度を創設します。 教育総務課 (概要書69P)

拡充 部活動各種大会への出場経費等支援 予算額 3,000 千円
 部活動における各種大会への出場時と遠征時のバス借上げ経費にかかる補助を拡充し、保護者の負担軽減を図ります。 学校教育課 (概要書70P)

新規 保育園・放課後児童クラブの環境の改善 予算額 10,300 千円
 市内保育園の主に未満児及び年少児室と放課後児童クラブにエアコンを整備し、子育て環境の改善・向上を図ります。 市民児童課 (概要書71P)

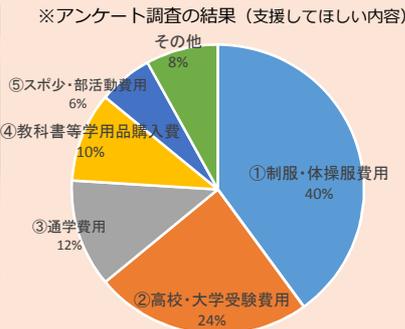
新規 地元特産品を使った給食の提供 予算額 800 千円
 地元農産物や飛騨牛を使用した「ふるさと給食」を通じて、地域食材の価値を学び、ふるさとを誇りに思える心づくりを支援します。 農林・教総課 (概要書72P)



拡充 子育て支援センターへの木育ひろばの増設 予算額 1,200 千円
 木のおもちゃにより豊かな心を育むため、H28の古川子育て支援センターに続き、神岡子育て支援センターに木育ひろばを設置します。 市民児童課 (概要書73P)

入園入学祝い金制度の見直しについて

平成25年度より飛騨市が子育て支援を目的として実施してきた「入園入学祝い金制度」は、平成28年度に実施した保護者へのアンケート調査に基づき、より市民ニーズに合致した制度となるよう見直しを行います。市が平成28年8月に保護者を対象として実施したアンケート調査によれば、支援してほしい内容は次のとおりとなっており、貴重な財源を市民のニーズに一番あった形で使うことができるよう改善を図るものです。



アンケート結果を踏まえ

- ①及び④に対して
入園・入学準備品購入費用への支援
- ②に対して
低所得者世帯への給付型奨学金の創設
- ⑤に対して
部活動各種大会への出場費支援

をそれぞれ実施します。

(組織の見直し)

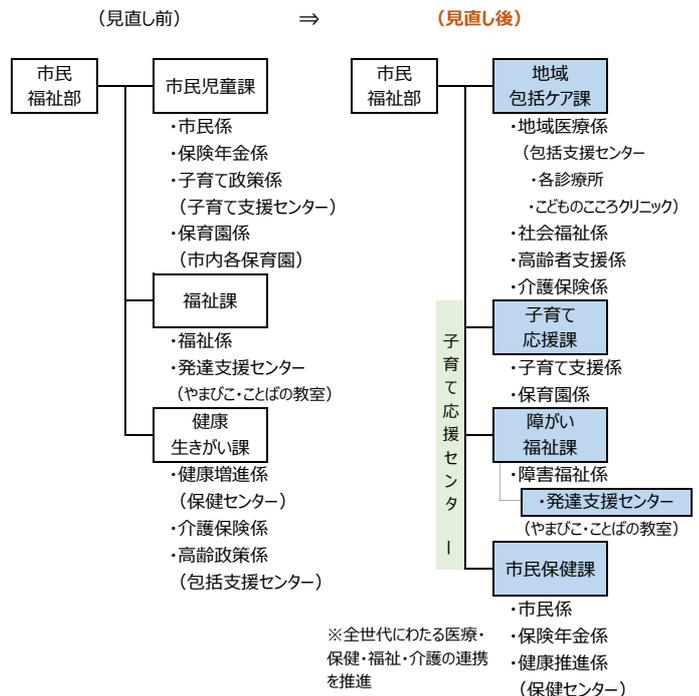
組織 市民福祉部内に「地域包括ケア課」を新設 市民福祉部
 大人に対する健康づくり、地域医療体制の強化、高齢者の生活支援等を包括的に行うため、市民福祉部内に新たに地域包括ケア課を設置します。(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 市民福祉部内に「子育て応援課」を新設 市民福祉部
 乳幼児期及び学齢期における子どもやその家庭を支援するため、市民福祉部内に新たに子育て応援課を設置します。(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 市民福祉部内に「障がい福祉課」を新設 市民福祉部
 障がい者・児の乳幼児期から生涯にわたる支援を行うため、市民福祉部内に新たに障がい福祉課を設置します。(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 市民福祉部内に「市民保健課」を新設 市民福祉部
 医療保険と連携した市民の生涯にわたる健康づくりを支援するため、市民福祉部内に新たに市民保健課を設置します。(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 3課が連携する「子育て応援センター」の開設 市民福祉部
 子育てに対する包括的支援を行うため、子育て応援課、障がい福祉課、市民保健課を子育て応援センターとして位置付け連携を図ります。(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)



安心を実感できる飛騨市をつくる

安全な暮らしをつくる

市民の安全な生活の維持向上を図るため、大規模災害に備えたドローンの活用や消防自動車の更新などのほか、各地域における防災リーダーの育成を図ることで市民の安全な暮らしをつくるための体制強化を図ります。また、有事に備え迅速かつ円滑な行政運営を実現するための組織改編を行います。

新規 ドローンによる災害時物資輸送体制の確立	予算額	749 千円	新規 消防OAシステム導入による業務の効率化	予算額	3,900 千円
楽天株式会社と相互に協力し、被災時のドローン活用と物資輸送に向けた実証実験及びオペレータの養成を行います。		総務課 (概要書74P)	誤りが許されない消防業務の効率化と維持管理費用の低減を目的とし、新たに消防OAシステムの導入を図ります。		消防本部 (概要書77P)
新規 地域防災リーダーの育成	予算額	300 千円	新規 土砂災害ハザードマップの作成	予算額	1,416 千円
地域の防災リーダーとして被災時の応急活動に行政とともに活動する防災士の資格取得に要する費用を支援します。		総務課 (概要書75P)	有事の際に市民が速やかかつ安全に避難できるよう新たに避難施設の内容を明示した土砂災害ハザードマップを作成します。		総務課 (概要書78P)
新規 防災行政無線・情報インフラ整備基本構想の策定	予算額	8,907 千円	拡充 消防車両の更新	予算額	48,779 千円
CATV、CATVインターネット、防災無線等を対象に現状分析及び課題整理を行い、整備に係る基本構想の立案を行います。		総務・情戦室 (概要書76P)	市内における消防力の維持増強を図るため、北分署配置の消防自動車1台と神岡消防署の指揮車を更新します。		消防本部 (概要書79P)

快適な暮らしをつくる

市民の快適な生活の維持向上を図るため、市民からの強い要望のあったバス待合所の整備のほか、道路の改良などを行うとともに、飛騨市の豊かな生活の源泉である清らかな水の安定供給を図ることで市民の生活環境の向上を図ります。

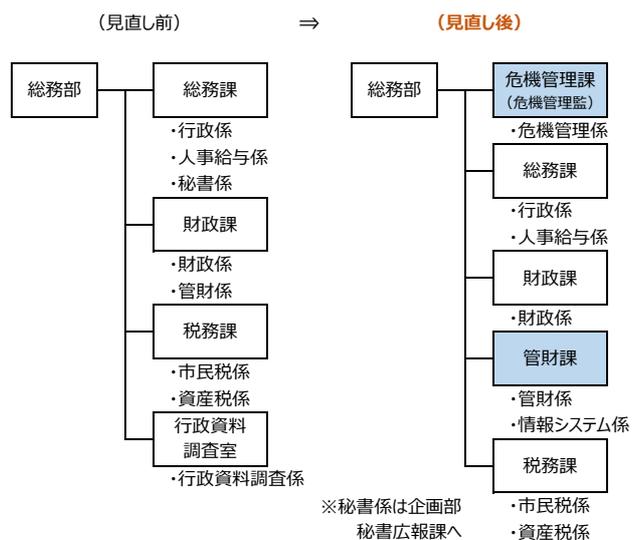
新規 市営バス待合所の整備	予算額	2,500 千円	新規 水道施設耐震診断・劣化調査の実施	予算額	17,100 千円
公共交通における市民の利便性・安全性の向上のため、交通結節点となるバス停に待合所を整備します。		総務課 (概要書80P)	水道施設の安全性確保と長寿命化のため、水源地など幹線施設の耐震診断及び劣化調査を行います。		水道課 (概要書84P)
新規 石綿管交換による水の安定供給	予算額	18,000 千円	継続 民間バス利用料金の負担軽減	予算額	13,703 千円
安心・安全かつ安定した水を供給するため、老朽化した石綿セメント管の敷設替を推進します。		水道課 (概要書81P)	新体系による公共交通運行に伴い、統一料金と民間バス会社の料金との差額を補てんすることで、バスの利用促進を図ります。		総務課 (概要書85P)
新規 公共下水道汚泥減量化の推進	予算額	13,098 千円	継続 生活を支える道路・橋梁の整備	予算額	539,600 千円
新たな種菌導入及び設備改修を行うことで浄化センターの浄化力向上を図り、処理水質の安定と下水道汚泥の減量を推進します。		水道課 (概要書82P)	市民の生活を支える道路の改良及びきめ細やかな修繕、老朽化した橋の点検及び補修を行います。		建設課 (概要書86~88P)
新規 水道アセットマネジメント・経営戦略の策定	予算額	8,400 千円			
中長期的視点による水道事業の安定的な運営のため、アセットマネジメントの導入及び経営戦略の策定を行います。		水道課 (概要書83P)			

(組織の見直し)

組織 総務部内に「危機管理課」を新設
 総務部
 全国で頻発する大規模災害を踏まえ、飛騨市における危機管理体制の拡充を図るため、総務部内に新たに危機管理課を設置します。
(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 危機管理課に「危機管理監」を新設
 総務部
 迅速な指示命令等による市内危機管理体制の強化のため、危機管理課に新たに危機管理監を設置します。
(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 総務部内に「管財課」を新設
 総務部
 市有財産の適正管理を行うため、総務部内に新たに管財課を設置するとともに企画部内の情報戦略室を統合、情報システム係として設置します。
(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)



誇り 誇りの持てる飛騨市をつくる

飛騨市の未来をつくる

未来を支える人の育成

日本全体で人口減少が進む中、将来の地域を担う人材の育成は重要な課題です。そのため、幼少期における健全な心の発育と夢を持つ子供を育てる取り組みのほか、特色ある高校づくりへの支援、市内高校に通学しやすい環境づくりに取り組むなど、飛騨市に誇りを持ち未来を担う人材の育成を図ります。

新規 一流スポーツ選手と小学生との交流	予算額	507 千円	拡充 教職員及び児童生徒体験学習の充実	予算額	280 千円
子どもたちに夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを一流スポーツ選手等を招いて伝える新たな事業を行います。		学校教育課 (概要書89P)	平成32年度からの学習指導要領改訂に向け、教員向けの研修、児童生徒への体験学習の充実を図ります。		学校教育課 (概要書92P)
拡充 魅力ある地元高校づくりの推進	予算額	2,100 千円	継続 「ふるさと飛騨市」の改訂	予算額	1,748 千円
飛騨神岡及び吉城高校と市・地域住民とが連携し、魅力ある地元高校のイメージを構築する取り組みや体制づくりを支援します。		企画課 (概要書90P)	小学校5・6年生社会科で使用されている「ふるさと飛騨市」の改訂版を作成し、ふるさと教育の推進を図ります。		学校教育課 (概要書93P)
拡充 市民団体との協働による木育の推進	予算額	700 千円	継続 地元高校通学者のバス負担の軽減	予算額	17,017 千円
市内推進団体との協働により、木や森林の価値を広める人材の育成やイベント開催等を拡充実施します。		企画課 (概要書91P)	新体系による公共交通運行に伴い、市内高校への通学に必要なバスの料金を見直し、市内高校に通学しやすい環境を整備します。		総務課 (概要書85P)

地域の自慢の発掘と磨き上げ

市内にある山城跡などの史跡は全国的には歴史ファンにしか知られていない現状であるため、こうした価値ある資源を飛騨市の「自慢」として積極的にPRし、内外に伝えることで市民が飛騨市の歴史文化に誇りを持つとともに、地域の活性化・観光振興にも積極的に活用します。また、こうした取り組みを円滑に行うための組織改編も合わせて行います。

新規 姉小路氏関連城館群の整備及び活用	予算額	3,562 千円	拡充 薬草ビレッジ構想プロジェクトの推進	予算額	2,000 千円
飛騨市に残る山城跡（城館群）を地域の魅力・自慢と位置付け、その整備と活用を図る新たな取り組みを実施します。		生涯学習課 (概要書94P)	薬草活用の取り組みを支える人材の育成を目的に、各種勉強会や新たな活用方法を学ぶワークショップ等の充実を図ります。		企画課 (概要書97P)
新規 文化財紹介サイトの開設	予算額	729 千円	拡充 飛騨えごまの里プロジェクトの推進	予算額	2,980 千円
市民および観光客に対して最新の文化財等の調査結果を伝え、価値の普及と啓発を行うためのホームページを開設します。		生涯学習課 (概要書94P)	地域での普及を推進し取り組みの裾野を広げるため、イベント等による価値の再認識及びブランド化と生産拡大を図る取り組みを行います。		企画・農林課 (概要書98P)
新規 史跡名勝江馬館跡保存活用計画の策定	予算額	647 千円	継続 杉崎廃寺跡の整備活用	予算額	667 千円
江馬館庭園の名勝指定を見据え、今後の保護・活用を図る「史跡名勝江馬館跡保存活用計画」を策定するための調査研究を行います。		生涯学習課 (概要書95P)	杉崎廃寺跡の国史跡指定に向けた試掘調査を行うとともに、調査結果等をもとにその価値の普及と啓発を図ります。		生涯学習課 (概要書99P)
新規 市民参画による高野千本桜夢公園の整備	予算額	2,000 千円	継続 ^{ムカデジョウ} 百足城跡公園の整備推進	予算額	7,700 千円
市民と協働し市内の隠れた魅力的なスポットや自慢を価値化していく取り組みの第1弾として、古川町高野地区に千本桜公園の整備を進めます。		農林課 (概要書96P)	古川町市街地を見下ろすことができる百足城跡を公園として再整備することで、市民のくつろぎと歴史を学ぶ空間の創出を図ります。		都市整備課 (概要書100P)

飛騨市ならではの地域資源を活用した市民との協働プロジェクト

飛騨えごまの里推進プロジェクト

飛騨地域の伝統食材である「えごま」のブランド化を図り、関連商品の開発・販売やツーリズム等への横展開などにより、地域での新たな経済循環の創出を目指します。また、ブランドを支える地域のえごま文化の保全・継承、優良種子の確保と作付推進、えごまの価値や活用方法の積極的な普及についても一元的に推進します。



薬草ビレッジ構想推進プロジェクト

市内に豊富に自生する薬草等有用植物を活用し、「薬草活用による健康増進」「商品開発や観光誘客・交流促進」を目指すプロジェクトです。飛騨市に暮らす方が薬草の価値を正しく理解し、普段の生活に取り入れることのほか、産業など様々な分野に活用するなど、薬草活用が地域文化として根付いているこの価値を広く全国の健康に関心のある方に発信していきます。



(組織の見直し)

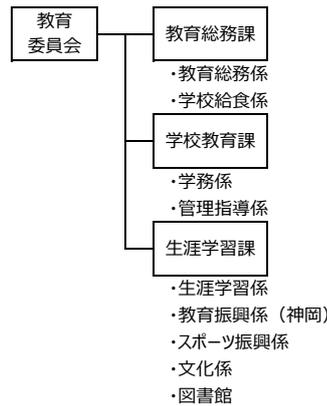
組織 教育委員会事務局内に「文化振興課」を新設

史跡等の見える化と観光資源と関連つけた魅力発信・誘客を強化するため、新たに教育委員会事務局内に文化振興課を設置します。

教育委員会

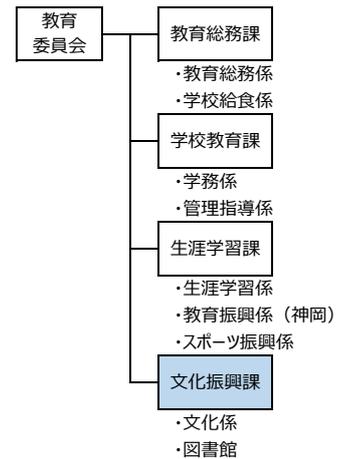
(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

(見直し前)



⇒

(見直し後)



元気とあんきを支える人と地域をつくる

協働によるまちづくりと交流の促進

人口減少の進行などの方で飛騨市には全国に誇れる地域資源が豊富であり、まちづくり活動が活発であるなど発展に向けた潜在力も有しています。そのため、地域資源を市民と一緒に積極的かつ持続可能な形で活用していく手段、仕組みづくりとして、「飛騨みんなの博覧会（飛騨みんなばく）」の実施と「ひだプラす」の運営支援、「小さなまちづくり応援事業」による市民活動への支援を行います。また、市民間の交流はまちづくりを支える大きなエネルギーであるため、イベント時における交流バスの運行や交流をつなぐ人材の配置などを行い、まちづくり活動の活性化を図ります。

協働によるまちづくり

拡充 体験型博覧会「飛騨みんなばく」の本格実施 予算額 6,043 千円
28年度に準備・試行した飛騨市版おんばく事業「飛騨みんなの博覧会（飛騨みんなばく）」について、その成果や反省を踏まえて本格実施します。 観光課 (概要書101P)

継続 小さなまちづくり活動の応援 予算額 10,000 千円
市内団体等の自発的なまちづくり活動を市民と共有する場を設けるとともに、活動費に対する支援を行うことでまちづくり活動の活性化を図ります。 企画課 (概要書103P)

拡充 「ひだプラす」の運営支援 予算額 923 千円
市内のまちづくり団体をつなぎ、その活性化を図る役割を担う新たな市民団体「ひだプラす」の運営を人・経費の両面から支援します。 企画課 (概要書102P)

交流によるまちづくり

新規 イベント交流バスの運行 予算額 2,000 千円
市内交流の促進やこれまで知らなかった魅力を市民相互に共有するため、各町からイベントにアクセスできる交流バスを運行します。 企画課 (概要書104P)

拡充 飛騨市ファン集いの開催 予算額 2,000 千円
飛騨市ファンクラブ会員の特典をPRし、東京・名古屋で「ファン集い」を開催するとともに交流を通じた新たなファン獲得を目指します。 企画課 (概要書107P)

新規 大人の社会科見学ツアーの開催 予算額 273 千円
飛騨市ならではの魅力を大人の社会科見学と称して巡り、新しい魅力の発見につながるツアーを実施します。 企画課 (概要書105P)

拡充 移住サイト「飛騨に暮らす」の内容充実 予算額 1,180 千円
飛騨市への移住に関心のある方に対し実際の生活をイメージしてもらうため、既存の情報サイトを生活者目線に立った内容へ拡充します。 企画課 (概要書108P)

拡充 地域おこし協力隊の配置 予算額 24,215 千円
都市部在住の外部人材を登用し、地域活動支援やプロジェクトを外部視点からサポートする地域おこし協力隊を増員します。 企画課 (概要書106P)

政策本位のまちづくり

(組織の見直し)

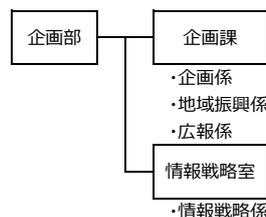
組織 企画部内に「秘書広報課」を新設

迅速かつ的確な情報発信と情報発信機能の一元化を目的として企画部内に新たに秘書広報課を設置します。

企画部

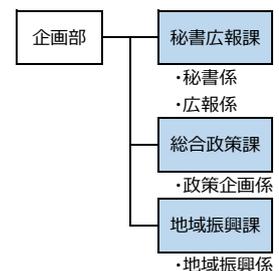
(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

(見直し前)



⇒

(見直し後)



組織 企画部内に「総合政策課」を新設

市政運営における重要課題の調整、新規プロジェクトの企画調整及び進捗管理を強化するため企画部内に新たに総合政策課を設置します。

企画部

(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

組織 企画部内に「地域振興課」を新設

地域活性化のための様々なプロジェクトや市民のまちづくり活動支援を強化するため企画部内に新たに地域振興課を設置します。

企画部

(別添資料「飛騨市組織の再編」参照)

※情報戦略室は総務部管財課へ

平成29年2月

飛騨市役所 企画部企画課

☎ 0577-73-6558 (夕7時)

✉ kikaku@city.hida.gifu.jp



HIDA CITY
飛騨市